

AT-146TE・147CE非常時の処置Ⅱ

① 停止機能

- ・ ジャッキインターロック (ジャッキ4本中1本でも設置不良だと上部操作不可能)
- ・ ブームインターロック (ブームをブームレストに格納していないとアウトリガ操作不可能)
- ・ ブーム干渉防止装置 (ブームがシャーシキャブ、工具箱等に当たりそうになると自動停止する)
- ・ バケット干渉防止装置 (バケットがブームに近づく、その手前で自動停止する)
- ・ シフトレバーインターロック (PTO「ON」で車両のシフトレバーが「N」以外の位置ではエンジンの始動が出来ない)
- ・ パーキングブレーキ警報装置 (パーキングブレーキを掛けないで、PTOを「ON」にすると、警報ブザーが鳴る)
- ・ PTO切り忘れ警報装置 (PTOが「ON」のままでは走行操作すると警報ブザーが鳴る)
- ・ 電源切り忘れ警報装置 (オプション) (静音型油圧ユニットが「ON」のまま走行操作するとブザーがなる)
- ・ サーモスイッチ (作動油の温度が80°C以上になるとすべての操作が不可能、75°C以下で可となる)

② 安全装置 (AML) 異常NO

- ・ 取り扱いミスと推定されるエラー ……250 (ジャッキ設置不良) ⇒ジャッキ4本共完全に設置させる
255 (作動油温上昇) ⇒75°C 以下になるまで冷却する
10 (上部操作緊急停止S/Wを押している又は上部～下部通信不良) ⇒S/WをOFFにする
- ・ 修理を必要とするエラー……………001～003 (AML本体不良)
004～251、052～172 (検出器、送信機、操作レバー中立不良等)

非常操作及びエラー表示部説明図 手順1. エラーNOを確認 手順2. バケット、ブーム格納 手順3. アウトリガ格納

